

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり町民各位のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげます。今年には干支も振り出しの子の年となりましたが、町政においても合併4年目の春を迎え、心新たに町の発展を期して参りたいと存じます。各位の格別のご協力を切にお願いする次第であります。

昨年は参議院議員選挙が執行され、与党の歴史的な敗北から安倍総理が退陣され、福田内閣が発足しました。衆参のねじれ現象から政治が停滞し、経済、社会の様々な分野で先行き不透明な状況にあります。

一方、鳥取県では片山知事の退任を受け平井知事が誕生しましたが、新しい指導者としてご活躍を祈念するとともに、新しい県政とよく協調して町の発展を期さねばならないと決意しているところであります。

このような中、我が南部町におきましては春に「SANAチャンネル」が開局いたしました。CATV網の敷設により情報通信基盤整備が完成し、情報化社会への体制整備が出来た訳であります。

6月からは議会中継も始まり、町政が身近な茶の間の話題となりましたし、町内の様々なイベントも紹介され、合併後の町づくりで一体感の醸成に計り知れない効果を発揮し、町づくりへの関心が飛躍的に高まったものと思えます。

今後におきまして、双方向でのやり取りができるCATVの機能を生かした「安否確認」や「健康づくり」「町政モニター」など様々な分野に夢が広がって行きますが、当面は出来るだけ多くの皆様にSANAチャンネルに登場を願ひ、皆様から愛されるSANAチャンネルの充実に努めてまいります。皆様の暮らしを支える大切な情報ツ

ルとするためにご協力をよろしくお願い致します。

次に3月議会では、合併以来訴えて来ました地域振興区設置条例が制定され、7月には町内7地区において地域振興協議会が発足しました。

新町における町づくりの基盤整備であり、色々な議論はありましたが大方の皆様のご理解とご協力をいただき発足し殊のほか嬉しく思っております。

地方分権の時代となり地方の自立が強く求められる様になりましたが、地方分権の真髄は「自ら決定し結果について責任を負う」という事と捉え、そのための条件整備を進めてきた訳であります。

国の護送船団方式で守られてきた町も、町行政にお任せ頂いていた地域も、いきなり「決定し責任を負う」という事も難しいことですから、住民の皆様と行政とが良く相談

して、様々な課題や地域の方に向けたなどを誤りなく進めるために、協働して行う場を作ったわけです。

それぞれの地域振興協議会では特徴的な取り組みがスタートしました。

「ウド」を地域の特産品に育てようと試験圃への植え付けができました。高齢者が散歩で疲れた時にひと休みできるベンチも配置されました。人に優しい地域づくりの一環です。また河川パトロールを行うって環境美化運動の取り組みが始まりました。このような地域の現状に合わせた特徴的な取り組みの中から、活動を通じてコミュニティの活性化を図られると共に地域への愛着や誇りが醸成され、それが地域再生のエネルギーとなつて力強く明るい南部町の発展が図られるものと確信しています。

皆様には従来から町づくりにご協力を頂いて参りましたが、今まで以上に身近な場面で身近な皆さんと共に、地域の実情に合ったやり方できめの細かい取組をして行こうとするものです。どうぞ積極的に参画して頂き子供や孫に誇れる地域を、より良い町を、今生きる我々の務めとして造って行こうではありませんか。

町政においては、今日まで皆様の暮らしを支える様々な基盤整備を大きな仕事として取り組んでまいりました。

まず上下水道施設の改良や完成によって生活環境基盤整備がほぼ完成しました。また待望久しかった180号バイパスの着工で道路交通基盤の充実を図り、西伯病院の改築によつて安心して暮らし続けることのできる基盤が、加えて情報通信基盤や分権時代の町づくりの基盤が整ったということにおいて、大きな基盤整備はほぼ目途をつけること

ができたと考えています。この上は町民の皆様自身がこれらの基盤の上に立って、様々な可能性にチャレンジして自己実現を果たし、自らの暮らしの質を高め「この町に住んで良かった」と誇りを持って暮らして頂きたいと願うものであります。

南部町には教育施設の改善や農業の問題、少子高齢化対策、若者定住、行政改革など解決しなければならぬ課題は数多くありますけれども、様々な基盤づくりがほぼ整った今、これらの課題を皆様と手を携へ相談しながら明るく楽しく進めようと考えております。どうぞ旧に倍してご理解ご協力をお願いする次第であります。

終わりに皆様方のご健勝とご多幸を重ねてお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。

南部町長 坂本昭文